

天理教北旭道分教会 会報

発行責任者:柴田正慶

【就任奉告祭】

立教百八十四年七月三日(土)
 柴田正慶の五代会長就任奉告祭を名古屋大教会長様・奥様の御臨席を賜り、また当教会世話人の鈴木陽一先生、高清水分教会の長様・奥様、上川支部長様、諸先生方、当教会の信者様の御参拝を頂き、就任奉告祭を執り行わせて頂きました。

【新任会長より】

北旭道分教会の歴代会長で、血族で会長を継がせて頂く事は、私が初めての事でありませぬ。また、私は北旭道分教会の3人兄弟の長男ですが、次男の広之は浦臼分教会長として、長女の初恵は岐美大教会系統の武大分教会長夫人として私より先に教会の御用に勤めています。血族で会長を継がせて頂く事、兄弟3人共に教会の御用にお任せさせて頂ける事は、やはり親々の信仰のお陰であると実感しております。また、教会長夫人となりました妻の道子も山口県の北長門分教会長ご夫妻の三女であり、親々の信仰のお陰で縁あり当教会に来て頂き、4人の子供にも恵まれ

本当にありがたく勿体ない極みであります。これからは信者さん一同、そして教会に住まわせて頂いている家族一同、心をあわせて通らせて頂き、歴代会長様方の軌跡を辿らせて頂きながら、自分の得意とすることを活かして、においかけおたすけをさせて頂きたいと存じます。



五代会長就任奉告祭 役割票

祭主/役割指		図		方		座つとめ		前		後	
柴田正慶		秋葉広之		山名和子		柴田道子		山名和子		柴田彩媛	
胡弓	柴田彩媛	秋葉愛花	柴田彩媛								
三味線	柴田風海	秋葉陽花	柴田風海								
琴	柴田静代	熊谷早苗	柴田静代								
小鼓	黒沼善志	出雲道治	黒沼善志								
すりがね	柴田優心	秋葉陽大	柴田優心								
太鼓	菅井和史	菅原光洋	菅井和史								
拍子木	柴田道雄	山名和子	柴田道雄								
ちゃんぼん	小澤末雄	柴田優心	小澤末雄								
笛	秋葉広之	菅原真輔	秋葉広之								
地方	鈴木陽一	熊谷篤	鈴木陽一								
おどり	大教会長様	柴田正慶	大教会長様								
	柴田正慶	柴田正慶	柴田正慶	柴田正慶	柴田正慶	柴田正慶	柴田正慶	柴田正慶	柴田正慶	柴田正慶	柴田正慶
	熊谷篤	柴田道雄	熊谷篤								
	鈴木陽一	秋葉広之	鈴木陽一								
	奥様	柴田道子	奥様								
	柴田道子	今成正子	柴田道子								
	柴田道子	山名和子	柴田道子								
	柴田道子	秋葉愛花	柴田道子								
	柴田道子	山名和子	柴田道子								
	柴田道子	柴田正慶	柴田道子								
	柴田道子	秋葉広之	柴田道子								
	柴田道子	菅原真輔	柴田道子								
	柴田道子	黒沼善志	柴田道子								
	柴田道子	菅井和史	柴田道子								
	柴田道子	秋葉陽花	柴田道子								
	柴田道子	今成正子	柴田道子								
	柴田道子	出雲道治	柴田道子								
	柴田道子	菅原光洋	柴田道子								

【教会看板新調】

この度、教会の看板を新調しました。板は北愛分教会よりご提供頂き、種類は「ハリギリ・センノキ」といい、ナラの木の次に硬い木材です。文字はパソコンの文字をカーボン紙を用いて転写して、その上から彫刻刀で「かまぼこ彫り」という手法で彫つていきました。文字の下塗りと中塗りを経て、カシュー黒で上塗りをしていきます。これからは、この看板を目印に多くの方が寄り集まる教会を目指して行きたいと思っております。

【黒門の黒塗装】

経年劣化により黒門の塗装が剥がれていました。最後に塗装したのは、約5年前の事でありました。今回は塗装を全て剥がしてから、木部保護ペイントにて塗装しました。ひのきしんには、高台分教会のご子弟であり、天理ニコニコドリームバンド団長の北森吉朗さん、徳士分教会のご子弟の西山恭一さんに駆けつけて頂きました。奉告祭に御参拝頂く方を、新調された看板と黒く変身した黒門で迎えする事が出来ました。

天理教北旭道分教会



【十全の守護を学ぶ】

第2回

をもちりのみこと様

(面足命 様)

人間身の内のぬくみ、世界では火の守護の理。

この世の初めに時間を造られた女神様

方角・南(午)

天でのお姿・日

人間創造時の泥海の中でのお姿

※12頭は12ヶ月を表し、3尾の

剣で割って四季が表れる。ほこり・「をしい」

心の働き、身の働きを惜しみ、

税金や納めるべき物を出し惜しむ。また、世のため、人のため

の相応の務めを欠き、あるいは、

借りた物を返すのを惜しんだり、嫌なことを人にさせて自分は楽

をしたいという心。

妊娠2ヶ月目の理(血の塊)

人間の身体では、体温を保つ働きをして下さり、世界では12

ヶ月12時の時間を司り、四季の

変化に応じた気温をはじめ、全

てのぬくみ、火に関わるご守護

をして下さっています。

人間の身体はぬくみが無くなれば単なる物体になります。し

かし、熱があり過ぎても生命が

危うくなります。をもちりのみこと様の程よいぬくみのご守護

で生命が保たれるのであります。また、この世は太陽の光とエ

ネルギーが無ければ成り立たず、

生物の生育、活動はぬくみのご守護があつてこそであります。

昼は太陽の光、夜は電気の光で

明るく暮らせるのも、この神様のお陰であります。更には煮炊

きをすること、お風呂を湧かす

ことをはじめとして、寒さの時

には暖を取り、暑さ時には冷

房が出来るのも、あるいは火加減一つで鉄や土を加工するのも、

またテレビやラジオの電波が飛

び交うのも、全ての熱源、エネルギーのお与えはこの神様のご

守護であります。をもちりのみこと様の御心は

ぬくみの心。隔てなく照らす暖

かき情愛の心。求めることなく

尽くす一方、日々寸秒の休みも

なく変わらぬ誠で働く心。家

族・縁者の運命の土台をつくる

伏せ込みをする心。与える一方

の底なしの真実を尽くす心であります。

反対に、出し惜しみ、骨惜し

み、負け惜しみ、尽くし惜しみの「をしい」の心はこの神様の

御心にかないません。また、我が身可愛いの身びいきから、恩

を仇でかえしたり、人を恨んだ

り、妬んだり、心の擦れ合いをするのは、この神様に残念な思

いをおかけすることになります。

ます。

をもちりのみこと様の御心に

かなわぬ心遣いが現れて発熱す

る。また、心臓弁膜症、心臓肥

大、動脈瘤、筋炎、白血病、胃

酸過多、緑内障、脳腫瘍、脳溢

血、高熱を伴う伝染病、さら

に落雷や噴火、爆発や火事など

の災害になりますから、人に恩

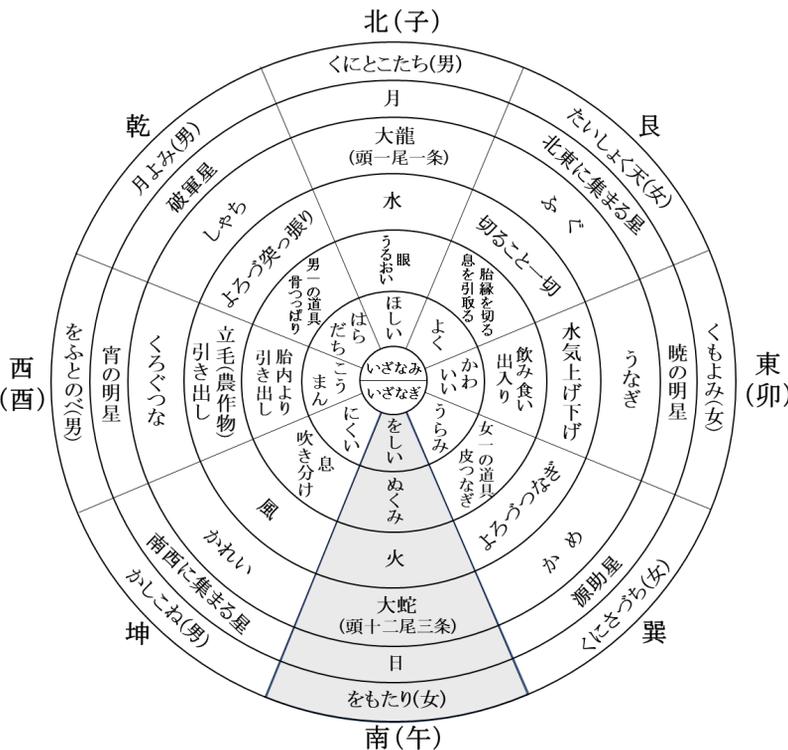
を着せるむごい心を無くして、

日々年々変わりにくく、優しく暖

かい心で通ることが肝要であり

ます。

元の理を表す円環図



をもちりのみこと様の御心にかなわぬ心遣いが現れて発熱する。また、心臓弁膜症、心臓肥大、動脈瘤、筋炎、白血病、胃酸過多、緑内障、脳腫瘍、脳溢血、高熱を伴う伝染病、さらには落雷や噴火、爆発や火事などの災害になりますから、人に恩を着せるむごい心を無くして、日々年々変わりにくく、優しく暖かい心で通ることが肝要であります。